

米原市における地域学校協働活動の取組

[取組状況] ■地域学校協働本部 ■地域未来塾 □放課後子ども教室 □土曜日の教育支援

■目指す姿

本市では、「自分の未来を自分でつかむ子どもの育成」を目指し、地域の良さを生かした特色ある教育を推進している。その中で、学校と園、家庭・地域が子どもの成長を中心に置き、目標やビジョンを共有しながら、子どもの支援の当事者として一体となって熟議・協働するための仕組みづくりを進めてきた。

本取組を通して、地域の人的・物的資源の活用や社会教育との連携により、各地域の自然や伝統、文化を生かした豊かな体験活動の実現を目指していきたい。また、これらの活動を通じて、子どもたちの自己肯定感や自己有用感を高めるとともに、ふるさとを愛し自ら行動しようとするシビックプライドを醸成し、子どもたちの将来にわたる財産としていきたい。

■本年度の具体的活動

○地域・学校の連携に関わる研修会の実施

地域学校協働活動推進委員、学校運営協議会委員、教職員を対象に地域・学校の連携に関わる研修会を開催した。市内の先進事例として米原学区の取組発表をしていただいた。また、各本部の現状と課題について意見交流をおこなった。

○教育フォーラムの開催

柏原学区：はびろ学習ラリー(各学年からの発表)・学校運営協議会との意見交流

大東学区：防災訓練(市防災危機管理課職員による講話・避難所設営体験)

伊吹山学区：ミニコンサート・学校の取組発表・参加者によるグループ協議

米原学区：収穫感謝祭・校園の発表・学校運営協議会主催の意見交流会(焼きいも交流会)

河南学区：各学校運営協議会の取組発表・児童会、生徒会による取組発表・全員合唱

双葉学区：小中合同参観日「ふたばの日」・北辺 禎雄氏(滋賀県 CS アドバイザー)による講演

■本年度の成果

各本部でコミュニティ・スクールと地域学校協働活動が一体となって実施することができた。学区の目標やビジョンに合わせて、これまでの活動を見直し、発展させたり新たな取組を行ったりした。各地域の自然や伝統、文化を生かした特色ある取組により、子どもたちにシビックプライドを育むことができた。

(児童生徒の感想より)

＊ボランティアさんのようにみんなのために働ける人になりたい。

＊大きくなったら地域の人を守れる大人になりたい。

＊地域で役立った経験は将来きっと役に立つと思う。

＊楽しい活動ができているのは地域の方や先生のおかげ。感謝している。

＊自分たちも地域の方や先生方に一緒に楽しんでもらえるようなことを考えたい。

＊年齢関係なく、地域 みんなが身近に感じられた。これからもずっと地域のつながりが続いてほしい。



【 米原学区収穫感謝祭 】

■課題と今後の連携・協働活動の推進に向けて

持続可能な活動にするため、認知度を上げ、新たな人材を確保する必要がある。また、活動をブラッシュアップしたり役割の分担・見直しをしたりすることで、活動は充実させ、業務負担を軽減させていきたいと考えている。

■地域学校協働活動推進員の委嘱状況

令和2年度より委嘱を実施。令和6年度は、19名に委嘱している。

■域内の公立学校園の学校運営協議会の導入状況および計画

令和2年度より、市内全小中学校に設置している。

■その他

米原学区の活動が、令和6年度「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」に係る文部科学大臣表彰を受けた。



【 河南学区教育フォーラム 】